

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 杉浦 久弘		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上			
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	—		<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	競技者・指導者等が、生涯にわたり、社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター・競技団体等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリアアップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備する。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	(1)スポーツキャリア大学院プログラム 世界で活躍できるスポーツ競技者、指導者を対象とした大学院の教育プログラムを開発する。 (2)キャリアデザイン支援プログラム ジュニア競技者、指導者、保護者、競技団体のスタッフ等に対して、教育啓発を図るためのガイダンス等を開催する。 (3)国際的スポーツ人材養成プログラム スポーツ団体の優れた人材を国際的スポーツ団体等に派遣し、国際的なスポーツ政策立案について研修する機会を提供する。 (4)ジュニアエリート支援プログラム JOCエリートアカデミー事業(JOCが国の補助金をもとに平成20年から実施)におけるジュニアエリートを対象とした学校教育支援プログラムの開発、メンタルケア等のサポート体制を確立する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算		110	95	102	173
		補正予算		△8	-		
		繰越し等		-	-		
		計		102	95	102	173
		執行額		100	68		
	執行率(%)		98.0%	71.6%			
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(25年度)
	(1)スポーツキャリア大学院プログラム 教育プログラムを大学院のカリキュラムとして実施した大学数	成果実績	プログラム		0	0	5
		達成度	%		0.0%	0.0%	
	(2)キャリアデザイン支援プログラム キャリアデザインセミナー・カウンセリング参加者数	成果実績	人		262	416	
		達成度	%		-	-	
	(3)国際的スポーツ人材養成プログラム 国際スポーツ団体の政策決定過程において、情報収集・情報発信を行える人材を養成し、国際的なスポーツ界における我が国の情報収集・発信能力を高め、影響力の強化を図ることが目的であるため、定量的な指標にはなじまない。	成果実績					
達成度		%					
(4)ジュニアエリート支援プログラム ジュニアエリートアカデミー対象者数	成果実績	人		23	36		
	達成度	%		-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	(1)スポーツキャリア大学院プログラム 教育プログラム開発実施数	活動実績	プログラム		5 (5)	6 (5)	- (6)
			回		44 (10)	90 (10)	- (10)
	(3)国際的スポーツ人材養成プログラム 国際的スポーツ団体等への派遣人数	(当初見込み)	人		2 ( 3 )	1 ( 3 )	- ( 6 )
			回		183 (100)	175 (150)	- (150)
<b>単位当たりコスト</b>	(1)スポーツキャリア大学院プログラム 教育プログラム開発1件当たりのコスト (5,210,262円/1プログラム)		算出根拠	単位当たりコスト=平成23年度スポーツキャリア大学院プログラム執行額(31,261,575円)÷教育プログラム開発件数(6プログラム)			
	(2)キャリアデザイン支援プログラム キャリアデザインセミナー・カウンセリング実施1回あたりのコスト(144,110円/1回)			単位当たりコスト=平成23年度キャリアデザイン支援プログラム執行額(12,969,906円)÷キャリアデザインセミナー・カウンセリング実施回数(90プログラム)			
	(3)国際的スポーツ人材養成プログラム 国際的スポーツ団体等への派遣者1人当たりのコスト(13,850,115円/1人)			単位当たりコスト=平成23年度国際的スポーツ人材養成プログラム執行額(13,850,115円)÷国際的スポーツ団体等への派遣人数(1人)			
	(4)ジュニアエリート支援プログラム 学習指導1回当たりのコスト(51,420円/1回)			単位当たりコスト=平成23年度ジュニアエリート支援プログラム執行額(8,998,546円)÷学習指導総数(175回)			
平成24年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費	1百万円	1百万円				
	スポーツ振興事業委託費	101百万円	172百万円				
	計	102百万円	173百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>当事業において取り組んでいる「スポーツキャリアの形成支援」は、スポーツ界における好循環の創出のために必要なものであり、スポーツ基本計画において国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が高い事業である。</p> <p>不用の発生については、単位当たりコストの削減等によるものである。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>支出先は、広くHPで公募をし、選定委員会の厳正な審査により、適正な手続きを経て選定されている。</p> <p>また、委託契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところであり、単位当たりコストについても削減に努めている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>大学院の教育プログラムについては大学に、競技者に対するサポート・啓発活動等についてはスポーツ団体に直接委託しており、実効性の高い事業となっている。</p> <p>また、活動実績についても概ね当初の見込みを達成しており、順調に事業が実施されている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>当事業は、スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域スポーツとの連携・協働の推進を図るものであり、事業の成果としてスポーツキャリアの形成を図るためのモデルとなるプログラムが開発され、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境整備の推進が図られている。</p> <p>今後は、本年3月に策定されたスポーツ基本計画を踏まえ、競技者・指導者等のスポーツキャリア形成を支援する施策の整理・充実を図る必要がある。</p>
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	—	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター・競技団体等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリア・アップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備することを目的としており、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：この事業は、平成23年度決算において多くの不用が生じており、予算と実績との差異の要因等を十分精査しつつ、引き続き予算の見直しを図るべきである。</p>	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）	
縮減	—	「スポーツキャリア大学院プログラム」の廃止や他のメニューの積算見直しにより、概算要求に▲21百万円反映した。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>スポーツ基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a></p> <p>スポーツ立国戦略について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a></p> <p>スポーツ振興基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0354

文部科学省  
68百万円

職員旅費 0.3百万円  
委員等旅費 0.4百万円 } を含む

（競技者・指導者等が、生涯にわたり、社会の各分野で活躍できる基盤（スポーツキャリア）の形成を図るため、JIS・S・NTC・NF等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリアアップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備する。）

【公募・委託】

A. スポーツキャリア大学院プログラム：31百万円  
大学（全6大学）

（トップレベル競技者・指導者等を対象とした大学院の教育プログラムを開発する。）

【公募・委託】

キャリアデザイン支援プログラム：13百万円  
民間団体（全2団体）

B.（公財）日本オリンピック委員会：5百万円  
C.（公財）日本プロサッカーリーグ：8百万円

（ジュニア競技者、指導者、保護者、競技団体のスタッフ等に対して、教育啓発を図るためのガイダンス等を開催し、競技者の競技生活初期からのキャリア意識の向上やキャリアデザイン意識の重要性等について、理解促進を図る。ジュニア競技者が将来への希望や期待、さまざまな選択肢を持つことで、より安心して競技生活をおくり、競技力の向上を図る）

【公募・委託】

D. 国際的スポーツ人材養成プログラム：14百万円  
（財）日本サッカー協会

（スポーツ団体の優れた人材を国際的スポーツ団体等に派遣し、国際的なスポーツ政策立案について研修する機会を提供する。国際スポーツ団体の政策決定過程において、情報収集・情報発信を行える人材を養成し、国際的なスポーツ界における我が国の情報収集・発信能力を高め影響力の強化を図る。）

【総合評価入札・委託】

E. ジュニアエリート支援プログラム：9百万円  
（株）インターファースト

（JOCエリートアカデミー事業におけるジュニアエリートを対象とした学校教育支援プログラムの開発、心のケアや進路相談等、学習及び生活面に対するサポート体制を確立し、競技面以外の支援プログラムを構築する。）

資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

A.順天堂大学			E.(株)インターファースト		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	国内調査、海外調査、海外講師招聘旅費等	4	賃金	カウンセラー、学習講師等賃金	7
諸謝金	講師謝金、調査協力者謝金・通訳謝金等	2	旅費	講師等旅費	1
雑役務費	翻訳業務	1	その他	印刷製本費・消耗品費・会議費・通信運搬費・雑役務費・一般管理費	1
その他	諸謝金・借損料、会議費・消費税・一般管理費	2			
計		9	計		9
B.公益財団法人日本オリンピック委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	プログラムの実施、講師業務、テキスト作成等	3			
その他	諸謝金・旅費・印刷製本費・消耗品費・会議費・通信運搬費	2			
計		5	計		0
C.公益社団法人日本プロサッカーリーグ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	教材作成、研修プログラム企画、報告書作成、報告映像作成等	4			
旅費	スタッフ、講師、研修旅費	2			
その他	講師、講師補助謝金、印刷製本費、会議費	2			
計		8	計		0
D.(財)日本サッカー協会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	国際サッカー連盟派遣旅費・滞在費	6			
賃金	国際サッカー連盟派遣職員賃金	5			
借損料	チューリッヒ滞在時アパート賃料	2			
その他	海外旅行傷害保険料、資料印刷代、携帯電話代、消耗品費等	1			
計		14	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A.スポーツキャリア大学院プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	順天堂大学	女性スポーツ支援に必要な知識を教授する科目の開発	9	企画競争	—
2	国立大学法人 鹿屋体育大学	ヨット競技を中心としたコーチ育成プログラムを開発 トップコーチが大学教員候補者へのキャリアトランジションできるように、大学での教授力と研究力を養成する教育プログラムを開発	7	企画競争	—
3	国立大学法人 福島大学	「陸上競技短距離走走指導者のためのトップコーチプログラム(仮称)」を創出し、構築する。	6	企画競争	—
4	仙台大学	JOCや関係大学間の連携を一層図り、昨年度に設計したプログラムモデルの本格的運用	4	企画競争	—
5	国立大学法人 筑波大学	ナショナルリーディングコーチ養成プログラムを開発	3	企画競争	—
6	早稲田大学	正規の学位認定プログラムとして、スポーツキャリアプログラム(仮称)を開始するための準備	2	企画競争	—

### B.キャリアデザイン支援プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本オリンピック委員会	ジュニア競技者の保護者に対するキャリアデザインプログラム、アスリートペアレントサミットの開催 ジュニア競技者を対象としたキャリアデザインセミナーの開催	5	企画競争	—

### C.キャリアデザイン支援プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人日本プロサッカーリーグ	Jクラブのジュニア・ユースの選手、スタッフ、Jリーグ選手、OB等関係者を対象にした、キャリアデザインプログラムの実施	8	企画競争	—

### D.国際的スポーツ人材養成プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本サッカー協会	サッカーの国際的な統括団体に人材を派遣し、重要な政策決定に影響を持つ人材を養成	14	企画競争	—

### E.ジュニアエリート支援プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社インターファースト	JOCエリートアカデミー事業におけるジュニアエリートを対象とした学習サポート、生活サポートの実施	9	企画競争	—